

家庭学習の手引き

机や壁面等に掲示し、活用してください

家庭学習の必要性



学力を向上させ、定着させるためには、授業に真剣に取り組むのはもちろんのこと、家庭での予習や復習が必要です。学校での学習内容は、家庭で復習することで、知識が定着するからです。また、学校で学ぶことを予習しておくことが、授業での理解を助けます。

この「家庭学習の手引き」を参考にして、お子さんに家庭学習の習慣を身に付けさせましょう。

家庭での教育が人間形成の基盤（家庭教育7か条）

- 1 元気なあいさつをする習慣を付けさせよう
- 2 毎日決まった時刻の就寝、起床と朝ご飯を食べるものの習慣を付けさせよう
- 3 身の回りの片付けをする習慣を付けさせよう
- 4 手伝いをさせ、家族の一員としての気持ちを育てよう
- 5 してよいこと、してはいけないことをはっきりとしつけよう
- 6 家族と会話したり、一緒に食事したりする機会を設けよう
- 7 友達と外で遊ばせよう



ゲーム、テレビ、スマートフォン、タブレットPC、インターネット等の使用について

子供にとってこれらは楽しくやめられない物です。子供の自主性に任せてしまっただけでは歯止めがききません。親の責任として強く受け止め、使用時間や使い方等の約束を徹底し、子供のためにしっかりとルールを守らせる努力が必要です。

(例)・勉強中、食事中、夜8時以降のこれらの端末の使用をさせない。

・テレビの視聴は1日2時間以内にさせる。 等

※テレビの長時間の視聴やゲーム等は、脳の機能を低下させています。

※スマートフォンによる危険な事件や事故が多発しています。

